

ニュースレター

# いりおもての森から

林野庁 九州森林管理局 指導普及課  
西表森林環境保全ふれあいセンター  
平成24年5月発行 No.33号



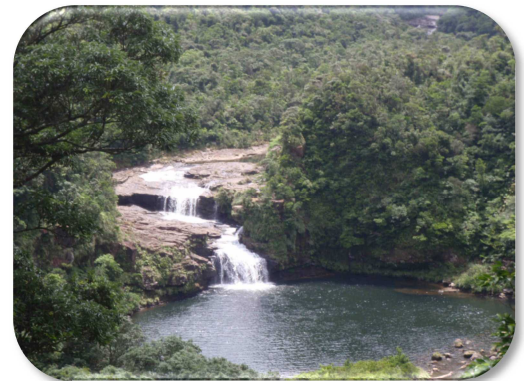
ウコンサンゴバナ

## 平成24年度スタートにあたって

平成24年度がスタートして一ヶ月あまりが経過し当センターの所在する沖縄県八重山地方では早くも梅雨入りし蒸し暑い日が続いています。新しいスタッフを加え各種モニタリング調査、森林環境教育、外来種対策等の業務を進めているところです。

本年4月から西表森林生態系保護地域が西表島の国有林約24,500haの内、平成3年の設定面積約11,600haから20,473haへ大きく拡充されました。当センターでは、森林生態系保護地域が適切に維持・保全されるよう各種モニタリング調査等の業務を進めていくこととしています。また、西表島の貴重な森林生態系への認識を深めて頂くことを目的に森林観察会の開催及び森林環境教育を推進するため西表島の植物誌（携行版）を作成することとしています。

本年度も亜熱帯の素晴らしい多様な生態系を有する西表島をフィールドに、各種業務を進めていきますのでよろしくお願い致します。



日本の滝100選 マリュドゥの滝  
(浦内川上流)

## ガイド講習会を開催

2月21日(火)に、沖縄森林管理署及び西表森林環境保全ふれあいセンター共催のガイド講習会を竹富町離島振興総合センターで開催しました。

このガイド講習会は、森林環境教育及び希少野生動植物種のモニタリングを推進する施設として設置した木道(延長150m)の利用希望者(ガイド等)を対象に、平成20年度から開催し今回で5回目になります。

今回は、沖縄森林管理署、環境省西表自然保護官事務所、沖縄県八重山保健所、竹富町教育委員会の各講師から「保護林制度」、「鳥獣保護区と国立公園の拡張について」、「ハブと海洋危険生物」、及び「天然記念物の取り扱いについて」と題して講話を頂きました。また、当センターからは木道を利用する際の留意事項等について説明しました。また、21日のガイド講習会に出席できなかった方を対象とした補習を3月1日に実施しました。

受講者は、補習者4名を含め45名(内新規受講者12名)の方が受講されました。ガイドの皆さんには、安全に留意され適正な木道の利用をお願いします。



ガイド講習会風景

## 「自然環境教育推進のための連絡会」を開催

2月17日(金)、西表島船浦の地域活性化施設(ときめきホール)において、「自然環境教育推進のための連絡会」を、西表島内の各小・中学校の先生、西表島等で自然観察会等の活動を行っている研究機関、行政機関、各種団体等の代表併せて19名に出席頂き開催しました。

この連絡会は、西表島における自然環境教育プログラムの実施に当たって、連絡会員による情報交換を目的として開催しているものです。



自然環境教育推進のための連絡会

今回の連絡会では、①年2回の連絡会開催、②要約したカリキュラム改訂版の作成配布、③プログラムの実施報告、④担当者のメーリングリストの作成等活用に向けての前向きな意見が出されました。

当センターとしては、皆様から頂いた意見等を踏まえ、「西表島での自然環境教育カリキュラム改訂版」を大いに活用いただくよう取り組んでいきたいと考えています。皆様、ご協力・ご支援よろしくお祈いします。

## 石西礁湖自然再生協議会に出席

1月26日(金)、石西礁湖自然再生協議会が、沖縄県八重山合同庁舎の大会議室で開催されました。

この協議会は、石西礁湖(せきせいしょうこ：石垣島と西表島の間広がる日本国内最大のサンゴ礁の海域)の自然環境が、赤土流出など陸域からの環境負荷、高水温などによる白化、オニヒトデの大量発生等により、攪乱を受け、大きく衰退していることから、「かつてのすばらしい石西礁湖のサンゴ礁を取り戻したい」、「もっと美しい海を見てみたい」、「サンゴとともに生きる地域をつくりたい」という熱い思いを持った、地元住民、市民団体、漁業や観光関係の団体、研究者、行政機関等が集まり、協議・連携することを目的として年数回開催されているものです。

今回の協議会では、①過去からのサンゴ礁の変遷、②生活・利用部会からは内水面の漁業・ダイビング等観光利用・船舶航行のルール化などの検討と実施状況報告、③協議会委員の自然再生の取組状況報告、④協議会の運営体制変更の協議と承認、⑤石西礁湖サンゴ礁基金の決算・予算と今後の運営方法等、盛りだくさんの協議がなされました。

なお、検討課題は引き続き議論を深め協議することとなりました。



石西礁湖自然再生協議会の開催風景

## 仲良川・浦内川のマングローブ林のモニタリング調査を実施

仲良川・浦内川のマングローブ林立枯れ被害箇所のモニタリング調査を2月6日(月)、7日(火)の両日に実施しました。

調査は、調査対象木の生育状況の視認、生立木の胸高直径・樹高の測定、砂泥の堆積状況の変化を見るための地盤高調査、そしてヒルギ等の膝根状況について調査しました。

仲良川の調査では、今回新たな枯損木2本を確認しました。これで全体の45%を枯損木が占めることとなります。枯損を確認した付近の地盤高の変化は見られませんが、従前から出現膝根数が少ないため枯損の拡大が心配です。

また、浦内川の調査では、新たな枯損木を確認することはありませんでした。地盤高の変化量も小さく、区域内12箇所調査した膝根の出現状況についても1㎡当たり平均19本の出現と前回調査結果とほぼ同程度の結果となりました。



相変わらず枯損木が多い箇所では表面に出現している膝根より土中に埋もれた膝根を数多く確認していますので、今後も両調査地共に膝根の出現状況などに注意を払いつつ引き続き調査を継続していきます。



調査風景



埋没した膝根の調査

## 海岸林自然再生試験地の成長量調査を実施

2月9日(金)、海岸林自然再生試験地において、自然再生状況を把握する成長量調査を実施しました。



生長量調査風景

海岸林自然再生試験地は、侵略的外来種である「ギンネム(ギンゴウカン)」が侵入している海岸防潮林を、自然災害に強い在来植生の森林に再生させる道筋を付けるためのものです。

試験地における生育状況は、昨年は大きな台風の襲来もなく、在来種の「オオバギ、ヤンバルアカメガシワ」などの早生樹種は順調な成長を示し、将来の森林形成の主役と期待する「テリハボク、フクギ」は確実に生育するなど、今後の成長に期待が持てます。

なお、前年度実施した補植木は、台風や降雨による冠水や干ばつの影響を受けながらも、多くが活着し生育していたことに安堵しているところです。

## 船浦ニッパヤシ群落のモニタリング調査を実施

3月9日(水)～10日(木)にかけて、船浦ニッパヤシ群落のモニタリング調査を実施しました。

この頃の西表島は、いつ雨が降り出すかわからない不安定な天気が続いていましたが、今回は、ニッパヤシの調査に加えて、オヒルギ等の周辺木の調査も実施しました。

ニッパヤシの生育状況を1個体当たりの葉数でみますと、平成17年度平均7枚だったものが、平成23年度では14.3枚と2倍強の増加を示しました。特に、ヤシミナト川沿いに生育する個体群の成長は旺盛で順調に推移していると考えられます。

一方、オヒルギ等の周辺木については、今回新たな枯損木を2本確認しましたが、そのほかは大きな変化はありませんでした。また、林内の光環境については、平均で30%を超える数値となりましたが、周辺木の除伐を実施した平成19年度以降大きな変動は見られません。

ニッパヤシ群落を取り巻く環境は、前述の状況から察しますと良好な環境が維持されていると考えます。ただ、3、4枚の葉は、虫害による枯損と思われるような形状で枯れていますので、今後、注意深く観察を続けていくことが重要と考えています。



オヒルギの樹高調査風景

# 西表島の植物

## フサナリツルナスビ

- ◇ **学名:** Solanum seafortianum
- ◇ **科名:** ナス科
- ◇ **特徴:** 高さ2~5mの常緑蔓性多年草。全体無毛で、刺はない。葉は互生し、長楕円形で先は尖り、羽状に3~9裂する。葉腋から集散花序を下垂し、直径約3cmの青紫色の花を多数つける。果実は約1cm、光沢のある赤色に熟す。観賞用に植栽されるが、時として逸出して野生化している。
- ◇ **生育環境:** 林縁
- ◇ **分布:** 琉球列島 南米原産
- ◇ **開花時期:** 周年



## 職員の異動のお知らせ (平成24年4月1日付)

自然再生指導官 山下 憲明 (やました のりあき)

**お世話になりました。**



転勤先: 九州森林管理局 (熊本市) 企画調整室 企画官 (情報システム担当)

八重山には平成22年8月に赴任し、1年8ヶ月と短い勤務となりましたが、地域の方々には大変お世話になりました。

西表森林環境保全ふれあいセンター在勤中は、マングローブ林のモニタリング調査などで全身汗だくも、苦にならなかったことが思い出されますとともに、西表島の鹿川湾ゴミ清掃、石垣でのカンムリワシ調査や花と緑の美ら島づくりなどに参加するなど、多くの楽しい思い出をつくることができました。ありがとうございました。

今後も西表島を訪れる多くの人々に感動を与えられるように、豊かな大自然が維持されることを願っています。

自然再生指導官 渡邊 昭博 (わたなべ あきひろ)

**よろしくお祈いします。**



前任地: 九州森林管理局 (熊本市) 企画調整室 企画官 (情報システム担当)

西表島の透き通った青い海、マングローブ林の深い緑、年中咲き乱れる原色の花々に感銘を受けています。これらの豊かな自然を後世の世代に残したいものです。前任地では情報システムを担当しており、主に森林GISやGPSなどの普及に携わっておりました。これらの経験を、西表島の外来種対策、希少樹種の保護・保存等に生かすことができればと思っております。

皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお祈いします。

林野庁 九州森林管理局 指導普及課 西表森林環境保全ふれあいセンター  
〒907-0004 沖縄県石垣市登野城 55-4 石垣地方合同庁舎内  
TEL: 0980-88-0747 FAX: 0980-83-7108

URL: <http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/huresen/huresentop.htm>